

新しい生活様式に基づく地域の茶の間運営マニュアル

～どんなときでもつながり続けるために～



【基本的な考え】

新型コロナウイルス感染拡大の防止と地域での支え合い活動の両方を進めるため、「新しい生活様式」の実践を図りながら、地域の茶の間運営に努める。

【基本姿勢】

1. 基本的な感染症対策の実施

○体調不良の方の参加の自粛

- ・発熱（37.5℃以上）などの風邪の症状、体調がすぐれない方の活動・参加は控える。
※参加者全員、当日の検温実施するなど体調確認を行う。

○感染予防・感染拡大を防ぐ

- ・参加者全員、手洗いや手指消毒を行う。
- ・会場では、不織布マスクの着用、咳エチケットを徹底する。

○「3密」（密集・密接・密閉）を徹底的に回避した上で活動をする

2. 講座等の開催

- ・講座などを開催する場合は、静かに講義を聞く座学の類は実施してもよい。

3. 活動日の参加者の把握

- ・参加者名簿を作成し、連絡先を把握する。
(感染者が出た場合に追跡を可能にするための措置です)

4. 活動を中止する場合

- ・開催中に参加者で体調不良者が発生した場合には、速やかに開催を中止してください。
(体調不良者とは発熱、風邪症状です)

5. 適用期間

- ・本運営の適用は令和3年10月1日から当面の間とし、状況の変化があった場合には見直します。

こんなときはどうしたらよいの？

Q. **密集しない**ってどうしたらよいの？

A. 多くの人が手に届く距離に集まらないための配慮を行いましょう。

(対策例)・人の密度を下げるために、長机 1 台につき一人など席の配慮をする。

- ・対人距離を確保して活動する。(なるべく対面方式は避ける)
- ・会場の部屋の定員の半分以下の人数で開催するなど、会場を広く使う。

Q. **密接しない**ってどうしたらよいの？

A. 飛沫を発生させないように、工夫しましょう。

(対策例)・近距離での会話や発声の際はマスクを着用する。

- ・湯のみなどを共有する形での湯茶の提供は行わない。
使い捨ての紙コップなどを使用する。
- ・菓子を提供する場合は、菓子器に盛らず、個包装のものを個別に提供する。

Q. **密閉しない**ってどうしたらよいの？

A. 換気を徹底しましょう。

(対策例)・2 方向の窓を同時に全開にし、1 時間に 2 回以上の換気を行う。

(1 回 10 分程度)

- ・窓が 1 つしかない場合、窓と入口を同時に全開にして換気を行う。

Q. **感染症対策**ってどうしたらよいの？

A. 活動前に、新型コロナウイルス感染症対策チェックリストを確認しましょう。

そして活動終了後の会話は控え、できるだけ速やかに帰宅しましょう。

また、管内の共用部分の消毒をしましょう。

(対策例)・ドアノブ、テーブル、トイレなど、多数が触れる場所について、消毒を行う。

- ・消毒ができない場合は、参加中は顔などを触らないように周知する。